小沢昭一 Shoichi Ozawa 第1週目

11・6(土)～9(火)

15：20 「牛乳屋フランキー」
17：00 「三匹の狸」
18：50 「大当たり百発百中」

11・10(水)～12(金)

15：20 「大当たり百発百中」
16：40 「牛乳屋フランキー」
18：20 「三匹の狸」

益田喜頓 Keaton Masuda 第2週目

11・13(土)～16(火)

15：30 「お父さんはお人好し」
17：10 「渡る世間は鬼ばかり ボロ家の春秋」
19：00 「この髭百万ドル」

11・17(水)～19(金)

15：30 「この髭百万ドル」
16：40 「お父さんはお人好し」
18：20 「渡る世間は鬼ばかり ボロ家の春秋」

山茶花究 Kyu Sazanka 第3週目

11・20(土)～23(火)

14：00 「みみずく説法」
16：10 「天才詐欺師物語 狸の花道」
18：00 「狐と狸」

11・24(水)～26(金)

14：00 「狐と狸」
16：20 「みみずく説法」
18：30 「天才詐欺師物語 狸の花道」

三木のり平 Norihei Miki 第4週目

11・27(土)～30(火)

14：50 「喜劇 駅前飯店」
16：40 「喜劇 冠婚葬祭入門」
18：30 「恋すれど恋すれど物語」

12・1(水)～12・3(金)

14：50 「恋すれど恋すれど物語」
16：40 「喜劇 駅前飯店」
18：30 「喜劇 冠婚葬祭入門」

特製おにぎり販売 11/27(土)～12/3(金)

三木のり平上映期間中、喫茶コーナーにて特製「桃屋ののり」おにぎりを販売いたします。ぜひご賞味ください。

マルベル堂プロマイド

マルベル堂のプロマイドを館内にて展示・販売いたします。上映作品の出演者たちのプロマイドを多数取り揃えております。喜劇人たちのかなりレアなものもございます。お楽しみに!

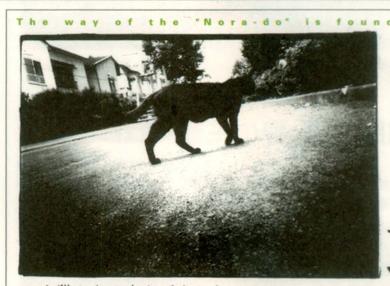
特別鑑賞1回券 ¥1,000 ※劇場窓口にて販売中
一般・学生 ¥1,200 小・中・シニア ¥1,000 シネマアートンクラブ会員 ¥900
2回券 ¥2,000／3回券 ¥3,000 シネマアートンクラブ会員3回券 ¥2,700
♪3回券お買い上げのかたに、マルベル堂のプロマイドが当たるスピードくじの抽選あり。
♪特典もりだくさんのお得なシネマアートンクラブ会員受付中 ●年会費／¥3,500(シニア／¥2,500)

小田急線・京王井の頭線「下北沢駅」南口徒歩5分

シネマアートン下北沢

Telephone 03-5452-1400
世田谷区北沢1-45-15 スズナリ横丁2F ※茶沢通り沿い、北沢タウンホール向かい
http://www.cinekita.co.jp

現在と過去をつなぐ「食」の記憶の物語
食卓の迷宮
篠藤ゆり
この小説を読む前と読んだあとでは、グルメへの思いも変るにちがいない。
梁石日
1,470円[税込]
ISBN4-901006-86-X

The way of the "Nora-do" is found in life

のら道
のら猫たちの生きざまから
見えてくる道があるのです。
ゆっくりとページを行き来しながら、
あなたの道をさがしてみてください。
The Spirits of the Wild
文・写真 石津昌嗣 定価 1,575円(税込)
ISBN4-901006-90-8 C0072
A5変形／上製／120頁／4色+1色

あなたに届きたい本があります。——アートンの本
http://www.artone.co.jp 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-19-9 第一暁ビル9F TEL 03-5459-2751
アートン

益田喜頓

第2週
お父さんはお人好し
渡る世間は鬼ばかり ボロ家の春秋
この髭百万ドル

特急喜劇

第二幕

11・6(土)——12・3(金)
シネマアートン下北沢

小沢昭一

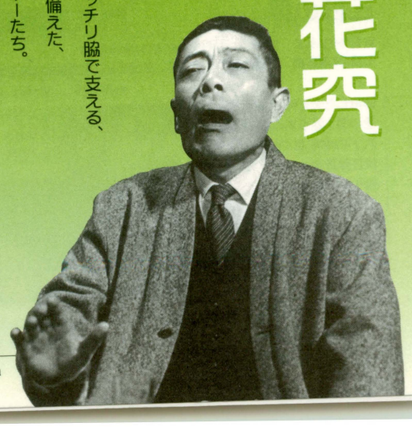
第1週
牛乳屋フランキー
大当たり百発百中
三匹の狸

名バイプレーヤーたちの競演

喜劇映画黄金期をガッチリ脇で支える、
演技力と個性を兼ね備えた、
愛すべきバイプレーヤーたち。
名前だけではピンとこなくても、
映画を見れば「ああ、この人か!」と
膝を打つこと間違いなし。
彼らの魅力にハマると、
映画のなかに姿を発見するだけで
ウレシクなってしまいますよ♪
隠れた名作を集めました。
珍しい、主演作品も上映いたします。
さあこの秋も、おおいに笑って
楽しいひとときをすごしましょう!!

山茶花究

第3週
みみずく説法
狐と狸
天才詐欺師物語狸の花道



三木のり平

第4週
喜劇 駅前飯店
恋すれど恋すれど物語
喜劇 冠婚葬祭入門

CINE KITA SCOPE
Cinema ARTONE Shimokitazawa

第1週目

小沢昭一

Shoichi Ozawa

昭和4年、東京生まれ。昭和26年俳優座公演で初舞台。以後、新劇と映画・テレビ・ラジオと幅広く活躍。民衆芸能の研究にも力をそそぎ、レコード「日本の放浪芸」シリーズの製作により芸術選奨ほか受賞。その後、平成12年、紀伊国屋演劇賞個人賞、読売演劇大賞優秀男優賞などを受賞。現在TBSラジオで放送中の「小沢昭一の小沢昭一的こころ」は放送31年目を迎えた。

牛乳屋フランキー

（1956／日活／白黒／84分）

監督:中平康　原作:キノトオル、小野田勇
脚色:柳沢類寿　西河克己　撮影:姫田真佐久
出演:フランキー堺、市村俊幸、**小沢昭一**、坪内美詠子、柳谷寛、宍戸錠

スラップスティック・コメディの傑作。フランキー堺が動く動く!ライバルの小沢昭一と自転車で配達のデッドヒートを繰り広げ、遥か彼方まで全力疾走するシーンや、団地の4階まで駆け上る姿をワンカットでとらえたシーンは見もの。フランキーの勤める牛乳店は現在の新代田駅周辺の設定。配達中の彼らの背景に映る当時の風景や、井の頭線の懐かしい車両にも注目。

大当たり百発百中

（1961／日活／白黒／67分）

監督:春原政久　原作:高田保　脚色:山内亮一、藤善平
出演:**小沢昭一**、松原智恵子、高原駿雄、田代みどり、加藤武、由利徹

レコード会社の文芸部で作詞をする及川太郎(小沢昭一)の特技は競馬の予想。決して金は賭けないが予想は百発百中。それを知ったヤクザ一味に追われながら、ついにひらめいた詞で大ヒット作を完成させる。小沢昭一自身が楽しんで演じているのがわかるドタバタ喜劇。ラストシーンは裕次郎のように歌ってカッコ良く終わりたいと監督にリクエストして実現したもの。けれど、どう考えても大ヒットしそうもないヘンテコリンな歌なのがまた可笑しい。

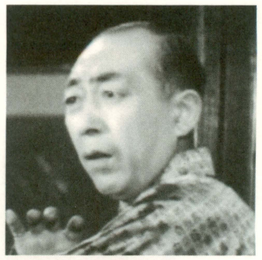
三匹の狸

（1966／東宝／カラー／91分）

監督:鈴木英夫　脚本:田波靖男　美術:村木与四郎
出演:伴淳三郎、**小沢昭一**、宝田明、星由里子、市原悦子、草笛光子、中村伸郎

詐取した金を株で儲けている初老の男。妻子ある前科1犯の口八丁の中年男(小沢昭一)。二枚目詐欺師。パーティー会場で知り合い意気投合した3人。そこにもう一人美女詐欺師が加わって、繰り広げられるあの手この手の詐欺の数々…。次々とテンポよく詐欺をおこなう様子が痛快。小沢昭一お得意の、アヤシイ中国人に扮した場面もお楽しみに。

第2週目



益田喜頓

Keaton Masuda

明治42年、北海道函館生まれ。バスター・キートンの大ファン、芸名も彼をもじった。あきれたぼういずで爆発的な人気を得、戦後はその飄々としたとぼけた味を生かして多くの映画やTVに活躍。60年代後半からは活躍の場を舞台に移し帝劇、日劇などに年数本のペースで出演しつづける。浅草の思い出をつづったエッセイや、小説も出版。平成5年、没。

お父さんはお人好し

（1955／大映／白黒／85分／16mm）

監督:斎藤寅次郎　原作:長沖一　脚色:伏見晃
出演:花菱アチャコ、浪花千栄子、堺駿二、**益田キートン**、中村玉緒、桜むつ子

果物店を営む阿茶太郎は13人の子福者。気の弱い長男の結婚話に奔走するうち、不景気で商売は苦しくなり……。「むちゃくちゃでござりまするがな」「わたしどうしましょう」など多くの流行語を生んだ人気ラジオドラマを映画化した、斎藤寅次郎監督お得意の人情喜劇。アチャコと浪花千栄子の息の合ったかけあいが素晴らしい。益田キートンは阿茶太郎の娘と縁談のもちあがる医者役で出演。

渡る世間は鬼ばかり　ボロ家の春秋

（1958／松竹／カラー／93分）

監督:中村登　原作:梅崎春生　音楽:黛敏郎
出演:佐田啓二、有馬稲子、多々良純、三好栄子、三井弘次
小山明子、**益田キートン**、桂小金治

梅崎春生の直木賞受賞作を映画化。スリに狙われた男を助けたことから、男の邸宅に間借りすることになったヴァイオリン弾きの青年。しかし男は姿をくらませ、この家を買う約束で金を払ったという人物が引越してくる。怪しい中国人(益田キートン)も現れて権利書をめぐる大騒動。二枚目俳優、佐田啓二がここまでやるかと、ビックリ場面もある珍しいコメディ作品。

この髭百万ドル

（1960／日活／白黒／56分）

監督:春原政久　原作:梅田慶吉　脚色:高橋二三
出演:**益田喜頓**、堀恭子、葵真木子、中川姿子、八波むと志、南利明、由利徹

ヒゲ自慢の元陸軍少将、陣八(益田喜頓)は、ジャジャ馬揃いの3人の娘におこづかいをもらい洗濯と掃除のさえない毎日。収入がなく娘たちに頭のあがらない陣八は一大決心のすえ就職することに。ようやく警備員として雇われるが、その立派なヒゲに目をつけた会社が新製品の広告写真に使ったことから陣八は一躍マスコミの寵児となった。ところが急に横暴になった父に娘たちは反発し……。

第3週目

山茶花究

Kyu Sazanka

大正3年、大阪市生まれ。浅草で歌手デビュー。ロッパ一座を経て、第2次あきれたぼういずに参加。戦後、映画に進出。盟友・森繁と共演の「夫婦善哉」の頃からアクの強い性格俳優として黒澤、成瀬、豊田、市川崑、増村などの巨匠に信頼される一方、駅前シリーズをはじめ東宝喜劇には欠かせない顔となった。芸名は3×3=9(さざんがきゅう)をもじった。昭和46年、没。

みみずく説法

（1958／東宝／白黒／109分）

監督:久松静児　原作:今東光　脚色:斎藤亮輔、長瀬喜半、椎名竜治
出演:森繁久彌、中村たつ、織田政雄、曽我廼家明蝶、**山茶花究**、田中春夫
浪花千栄子、司葉子、乙羽信子、藤木悠

今東光の同名随筆の映画化。大阪河内の寺の住職は小説家、夜中じゅう起きているため「みみずく和尚」と呼ばれている。今日は檀家総代の貞やん(山茶花究)が丹精込めて育てた闘鶏の試合、駆けつけた和尚の応援もむなしく敗退。がっかりした貞やんだが隠し子の貞一郎が借金に来たり、娘に縁談が持ちあがったり次々と騒動が巻き起こり……。人の良い和尚が檀家の人々を救う爽快な人情喜劇。

狐と狸 New Print

（1959／東宝／カラー／126分）

監督:千葉泰樹　製作:藤本真澄　原作:熊王徳平　脚色:菊島隆三、音楽:黛敏郎
出演:加東大介、小林桂樹、三井弘次、**山茶花究**、清川虹子、夏木陽介、団令子
草笛光子、三好栄子、水野久美、左卜全、**三木のり平**、有島一郎、森繁久彌

インチキ、詐欺すれすれの強引な商売をする行商人たちの一行。しかし買う方の農家も強欲の塊で、まさに狐と狸の壮絶な化かしあい。ふまれてもたたかれても生きていく旺盛な生活力と、彼等の底に流れる誠実さを東宝喜劇オールスターキャストで描く。山茶花究は行商人メンバーで、元浪曲師の天中軒瀧右衛門。浪花節をうなり渋いノドを聴かせます。

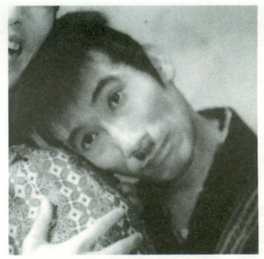
天才詐欺師物語　狸の花道 New Print

（1964／東宝／カラー／96分）

監督:山本嘉次郎
出演:小林桂樹、森繁久彌、**三木のり平**、**山茶花究**、淡路恵子
司葉子、志村喬、藤原釜足

舌先三寸、オールベてんで突っ走る、自称・天才詐欺師の男。詐欺を繰り返し、大儲けを企む。捕まっても捕まっても素晴らしい演技力を発揮して刑事や看守を丸め込み、軽い刑で出てくるありさま。ところが出所してみると女房には新しい男ができていて……。明るく調子よい騙し騙されの痛快喜劇。山茶花究は騙される洋服屋の主人。親切そうに見えてじつは腹黒い、お得意のキャラです。

第4週目



三木のり平

Norihei Miki

大正13年、東京生まれ。日本大学で美術を志すが、俳優座等を経て三木鶏郎グループに参加し、NHKラジオ「日曜娯楽版」で人気を集める。その後、映画「社長シリーズ」などの軽妙な演技で喜劇役者としての地位を確立。桃屋のCMは昭和33年に始まり、以来40年以上にわたって日本中に親しまれる。平成11年、没。

♪桃屋キャラクター40年の歴史のなかから厳選した名作CMを併映いたします。

喜劇　駅前飯店

（1962／東宝／カラー／95分）

監督:久松静児
出演:森繁久彌、淡島千景、乙羽信子、伴淳三郎、フランキー堺、池内淳子
三木のり平、**山茶花究**、森光子、王貞治

駅前シリーズ第5作目。横浜中華街を舞台に、アヤシゲなカタコトの日本語を操るいつもの面々が、駅前飯店をオープンさせようとして巻き起こす大騒動。当時の巨人軍の王貞治がゲスト出演している。「頭刈らせて」と言ってまとわりつく三木のり平の散髪屋が、登場するたび可笑しい。

恋すれど恋すれど物語

（1956／東宝／白黒／90分）

監督:斎藤寅次郎　原作・脚本:菊田一夫
出演:有島一郎、**三木のり平**、榎本健一、古川ロッパ、柳家金語楼、トニー谷
花菱アチャコ、堺駿二、**益田キートン**、**山茶花究**、大河内傳次郎、雪村いづみ

南蛮渡来の爆薬を長崎から江戸へ運ぶ任務を受けた有島一郎と三木のり平のコンビ、その壷を奪おうと狙う剣豪、盗賊、女賊たちが繰り広げるドタバタ珍道中。"笑いの御三家"と称せられたエノケン、ロッパ、金語楼をはじめ、当時の喜劇人たちがずらり勢ぞろい。二度とありえない、超豪華顔あわせによる芸合戦をたんのうできます。

喜劇　冠婚葬祭入門

（1970／松竹／カラー／87分）

監督:前田陽一
出演:**三木のり平**、倍賞美津子、由利徹、ケーシー高峰、森光子
古今亭志ん朝、藤村俊二、穂積隆信

定年間近のうだつのあがらぬ係長、三村一平(のり平)だが、会社の冠婚葬祭では、ずば抜けた名人芸を発揮しみんなに頼りにされている。一人娘のみどりもそろそろ結婚を考える頃。ところが恋人の落語家が実は天敵の阿部常務の息子だと分かり一平は猛反対するが……。知っておくべき冠婚葬祭の作法や知識をふんだんに盛りこんだ、笑えて、ためになる、一粒で二度おいしい!映画